

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年12月14日

計画の名称	広島広域都市圏における広域的な観光活性化計画（重点）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	広島県												
計画の目標	<p>広島広域都市圏は、中国地方の経済成長をけん引し、高次の都市機能の集積・強化及び圏域全体の生活関連機能サービスを向上させることを目的に、平成28年に連携協約を締結し、広島市を連携中枢都市とした11市13町から形成される都市圏である。本都市圏は、世界文化遺産である「厳島神社」や「原爆ドーム」、日本国指定名勝の「錦帯橋」といった世界に誇る観光拠点のほか、「羅漢峡」や「寂地峡」等の豊かな自然が織りなす風光明媚な景勝地や、旧海軍兵学校や柳井市の重要伝統的建造物群保存地区等の歴史的資産など多彩な観光資源を有しており、すべての拠点施設が広島市の中心部から概ね60kmの圏内にあるとともに、圏域を縦横断する山陽自動車道や中国自動車道等の高速道路ネットワークが形成されており、国を代表する観光地としても高いポテンシャルを有している。</p> <p>広島県と山口県は、一般社団法人せとうち観光推進機構と連携して、観光キャンペーンを展開し地域の魅力や観光資源の発信、イベントの開催、拠点施設の支援を行うなど観光集客に取り組んでおり、圏域の強みを活かしながら、広域的特定活動と一体となった広域的な観光周遊ルートを形成し、交通拠点から拠点施設の間や拠点施設間の道路整備等を通じて、観光施設への移動時間を短縮し、観光客の疲労・ストレスを軽減することで満足度の向上に努め、（以下、備考欄）</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,519	A	2,519	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26	H31末	H33末
1	【広島県・山口県 共通目標】広島広域都市圏（安芸高田市，三原市，世羅町を除く）における入込観光客数を33,479千人（H26）37,261千人に増加（3,782千人（11.3%）の増加） 圏域における入込観光客数 （観光客の増加割合）=（評価時点の観光客数 - H26の年間観光客数） / （H26の年間観光客数）	33479千人	36186千人	37261千人
2	【広島県 独自目標】広島広域都市圏（山口県，安芸高田市，三原市，世羅町を除く）における外国人観光客数を846千人（H26）から2,206千人（H33）に増加（1,360千人（160%）の増加） 圏域における外国人観光客数 （観光客の増加割合）=（評価時点の観光客数 - H26の年間観光客数） / （H26の年間観光客数）	846千人	1820千人	2206千人
3	【広島県 独自目標】広島広域都市圏（山口県，安芸高田市，三原市，世羅町を除く）における来訪者の満足度を66.4%（H26）から82.3%（H33）に向上（15.9ポイントの向上） アンケート調査による割合	66%	78%	82%
4	【広島県 重点目標】拠点施設における県外からの入込観光客数を4,817千人（H26）から5,361千人（H33）に増加（544千人（11.3%）の増加） 重点施設の拠点施設における県外からの入込観光客数 （観光客の増加割合）=（評価時点の観光客数 - H26の年間観光客数） / （H26の年間観光客数）	4817千人	5206千人	5361千人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
圏域内外からの観光客外国人観光客を大幅に増加させ、観光による広域的な地域活性化を図る。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	広島県	直接	広島県	国道	改築	(国)375号 御園宇 工区	現道拡幅 L=0.8km	東広島市						708		-
	A11-002	道路	一般	広島県	直接	広島県	国道	改築	(国)487号 小用BP 工区	バイパス L=0.5km	江田市						579	1.3	-
	A11-003	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	改築	(主)高田沖美江田島線 高祖工区	バイパス L=0.9km	江田市						62		-
	A11-004	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	改築	(一)広島海田線 新大 洲橋工区	現道拡幅 L=0.3km	府中町						722		-
	A11-005	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	改築	(一)川尻安浦線 塩谷 工区	バイパス L=0.6km	呉市						299		-
	A11-006	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	改築	(一)弁財天加計線 土 居工区	バイパス L=0.1km	安芸太田町						21		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
広域連携事業	A11-007	道路	一般	広島県	直接	広島県		国道	修繕	(国)375号 馬木工区	舗装修繕 L=1.0km	東広島市						120	-	
	A11-008	道路	一般	広島県	直接	広島県		都道府県道	修繕	(主)江田島大柿線 江田島中央工区	舗装修繕 L=0.3km	江田島市						8	-	
													小計						2,519	
													合計						2,519	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
整備計画構成自治体・団体 (広島県、山口県) 広島県土木建築局道路整備課で最終評価を実施	令和5年10月
	公表の方法 広島県ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により最終目標値は達成できなかったものの、道路整備を行うことで、観光地へのアクセス性が向上し、広域観光の活性化に寄与したと考えられる。</p> <p>【本事業完成で発現される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A011-002 (国)487号 小用BP工区のバイパス完成により、拠点施設平和記念公園から拠点施設海上自衛隊第1術科学校へのアクセス性の向上が図られたと考えられる。 ・A011-003 (主)高田沖美江田島線 高祖工区のバイパス完成により、拠点施設海上自衛隊第1術科学校から拠点施設創造の森森林公園へのアクセス性の向上が図られたと考えられる。 ・A011-007 (国)375号 馬木工区の舗装修繕により、拠点施設西条酒蔵通りから拠点施設馬木ICへのアクセス性の向上が図られたと考えられる。 ・A011-008 (主)江田島大柿線 江田島中央工区の舗装修繕により、拠点施設海上自衛隊第1術科学校から拠点施設創造の森森林公園へのアクセス性の向上が図られたと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	道路整備の実施により、時間短縮効果やすれ違い困難箇所が解消されたことで交通環境が改善され、広域的周遊観光の活性化に寄与した。
特記事項(今後の方針等)	
整備計画期間内に未完成であったA011-001、004、005、006の道路事業については、引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、広域的な観光周遊ルートの形成に資する各拠点間の道路整備を推進する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	広島広域都市圏（安芸高田市，三原市，世羅町を除く）における入込観光客数の増加 新型コロナウイルス感染症の影響により、最終目標値は達成できなかったが、令和3年度から令和4年度にかけては入込観光客数は回復傾向（R3：18,986千人 R4：25,529千人）にある。【山口県】R4実績値：4,115千人（R3：3,451千人）
	最終実績値	
2	最終目標値	広島広域都市圏（山口県，安芸高田市，三原市，世羅町を除く）における外国人観光客数の増加 新型コロナウイルス感染症の影響により、最終目標値は達成できなかったが、令和3年度から令和4年度にかけては入込観光客数は回復傾向（R3：44千人 R4：145千人）にある。
	最終実績値	
3	最終目標値	広島広域都市圏（山口県，安芸高田市，三原市，世羅町を除く）における来訪者の満足度の増加 新型コロナウイルス感染症の影響により、最終目標値は達成できなかったが、平成26年度から令和3年度にかけて来訪者の満足度が増加（H26：66.4% R3：75.0%）した。
	最終実績値	
4	最終目標値	拠点施設における県外からの入込観光客数の増加 新型コロナウイルス感染症の影響により、最終目標値は達成できなかったが、令和3年度から令和4年度にかけては入込観光客数は回復傾向（R3：1,775千人 R4：3,546千人）にある。
	最終実績値	